

令和3年 4月 5日

(宛先) 湖西市議会議長

湖西市議会議員
氏名 柴田 一雄



政務活動費収支報告書

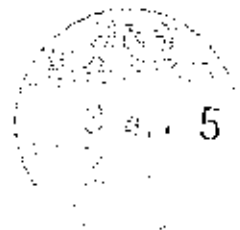
湖西市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項の規定により、令和2年度政務活動費について次のとおり報告します。

1 収入 政務活動費 120,000円

2 支出 (単位:円)

項目	支出額	主たる支出の内容
調査研究費		
広報・広聴費		
要請・陳情活動費	16,810	交通費
研修費	46,320	セミナーデータ購入 他
資料作成費		
資料購入費	26,870	書籍購入 他
合計	90,000	

3 残額 30,000円



支 出 伝 票

湖西市議会議員
氏名 柴田 一雄



会計年度	令和2年度	支出番号	1		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 19,800 円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
	令和2年 9月28日	資料 購入費	有限会社 佐原新聞店	19,800円	●資料名 静岡新聞 (4月から9月分)
		その他 ()		円	
支出目的	複数の新聞を購読し、より多くの地域の情報収集と社会情勢における多方面からの調査研究に活かす為。				
備考					

- ※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。
- ※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

領収証 (口座振替)

①
振
様

支店 区域 口座 No. 柴田一雄
01 001 028 016284

※は軽減税率対象です

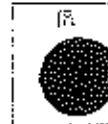
品名	数量	単価 (円)	金額	支払期日
※静岡新聞	6	19,800	19,800	2020年9月分
10%対象	0			送取期しなし
8%対象	19,800			2020年9月28日
		(内消費税 0)		
		(内消費税 1,467)		

但し、2020年4月～9月分

(有) 佐原新聞店
湖西市鷺津2489-1



鷺津 本店 576-0351
053-576-0351



ご利用ありがとうございます。本領収証を保存下さい。当社の他の訂正したものがありません。

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 柴田 雄



会計年度	令和2年度		支出番号	2	
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		902 円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
	令和2年 9月29日	資料 購入費	株式会社 谷島屋	902円	●資料名 書籍 「地方議員は必要か」
		その他 ()		円	
支出目的	地方議員に対する一般的なイメージの理解や、多くの議員当事者の意見から議員としての質の向上を目指す為。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

御住所

〒

御氏名

柴田 一雄

様

領収証

②

金額

¥ 902

得意先コード

請求期

今回請求額

2020年9月29日 上記正に領収いたしました

但し書籍

印紙

浜松市中区連尺町309-1

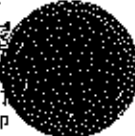
株式会社 谷島屋

代表取締役 斉藤晋一郎

☎(053)454-7705 傳呼AX454-7457

谷島屋オンライン <http://www.yajimaya.co.jp>

集金振替印



支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 柴田 一雄



会計年度	令和2年度		支出番号	3	
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費		<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費		<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
合計支出金額 15,440 円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
	令和2年 10月26日	参加 負担金	地方議員研究会	15,440 円	●参加負担金 15,000 円 ●振込手数料 440 円
		資料 購入費		円	●資料名
		その他 (振込手数料)			振込手数料
支出目的	シティプロモーションの基礎的な知識を習得するため。				
備 考	地方議員研究会セミナーデータ「シティプロモーション」講座。 セミナー内容のデータを購入し、自宅にて視聴研修。				

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

③

領 取 証

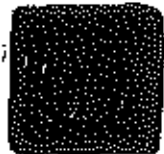
桑田一雄 様 2020年10月26日

★ **¥15,000**

領 (シティブロモーション)
資料・講習データ代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
TEL 06 (7878) 6297



キャッシュサービスご利用 ③

毎度ご利用いただきありがとうございます

浜松いわた信用金庫

取引日	02-10-26	取引店舗	〇〇〇〇
取引種別	〇〇〇〇	取引金額	¥15,000*
お引出	手数料 ¥440	残高	〇〇〇〇
時間	13:00	支店	〇〇〇〇
印紙税申告納付につき浜松西		税務署承認済	

供	議長	副議長	局長	次長	係長	係	
覧	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

様式第9号 (第7条関係)

令和2年12月22日

湖西市議会議員

氏名 柴田 雄

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費
期 間	令和2年12月15日(火)		
場 所	自宅		
内 容	地方議員研究会「シティプロモーション」講座。 セミナー内容のデータを購入し、自宅にて視聴研修。 ※購入データの到着が12月定例会直前となりましたので、 12月定例会閉会后、自宅で学習しました。		
目 的 (市政との関連性)	シティプロモーションの基礎的な知識を習得するため。		
成 果	シティプロモーションにおける時代背景や先進地の取り組み、 今後の予想される展開を含めて基礎を習得できました。 今後の議員活動に活かしていきます。		

1. シティプロモーションとは何か

語句としてはアジア通貨危機やメガバンクの破綻後、1998年頃から登場し始め、リーマンショック後の2008年頃から一般化してきた。

2008年は人口減少元年とも呼ばれている。

福岡市が初めて1986年にシティセールスという言葉を使用し、1989年にシティセールス担当課を設置した。

2000年代半ばから政令市を中心に、シティプロモーションに関する行政計画の策定が相次いできた。

2013年にはシティプロモーション自治体等連絡協議会が設置された。

2016年には全国的にシティプロモーションの広がりがピークとなり、シティプロモーションの考え方が当たり前となり、目立たなくなってきた。

2. シティプロモーションの第一歩

主な自治体の取り組み状況

◎熱海市

- ・宿泊施設のデータから観光の活性化を成功させ、定住促進にシフトしている。

◎戸田市

- ・まちの魅力をアピールし、企業誘致と定住のみに力を入れている。
観光は行政としては行っていない。

◎羽村市

- ・飲食店のコースター
- ・ステッカーの配布
- ・子育て雑誌とのコラボ

◎富士市

- ・運送協会とのコラボで市内のトラックのデザイン

◎その他の事例や傾向

- ・審議会委員にマスコミを入れる→報道してもらえる
- ・一番でなくてはいけない → 一番しか認知してもらえない

〇〇県で一番、日本や東海で一番とか…初めてでも良い

◎シティプロモーション「都市・地域の売り込み」

- ・「誰」を対象とするのか
- ・「誰」はどの「地域」に多いのか。
- ・「誰」は、どういう「メディア」を見ているのか。

例：観光客をどこから誘致するのか？

移住定住促進 = どこからの人をターゲットとするのか？

↓

日本全国をターゲットにするのは難しい

○成功事例…箕面市、熊本市、流山市

→共通点はターゲットの絞り込みと民間からの職員採用。

◎達成に向けた政策目標

- ・定住人口の拡大
- ・シビックプライドの醸成
(子供の頃のイベントや体験が大きく影響)
- ・スタッフプライド育成
(行政職員の地元への愛着)
- ・関係人口開拓
- ・企業誘致

3. 本来はブランド ⇒ セールスプロモーション

◎イメージが湧く

→それを創るのがシティプロモーション

→自治体間競争に勝つ

認知度拡大が一番重要

◎AIDMAの法則

- ・Attention (認知)
- ・Interest (関心)
- ・Desire (欲求)

- ・Memory (記憶)
- ・Action (購買行動)

◎Attention からの成功事例

1 日平均乗客数 600 万人の山手線への車両ラッピングで富山県、秋田県、高知県の観光客の誘致が V 字回復した。

◎失敗例

- ・プロモーション動画を作ることが目的になってしまう。
「予算を掛けて動画を作ったが動画を流す (周知) 為の予算をつけていない」
- ・プロモーションが内容で、目的が明確になっていない。
「目的は観光なのか？ 定住促進なのか？ 的が絞られていない」
- 「予算を掛けてポスターを作ったが、貼ってもらう為の予算を付けていない」

4. 地域イメージ構築の必要性

◎先進事例と成功事例はイコールではない

- ・徳島県上勝町 「葉っぱビジネス」
- ・徳島県神山町 「リモートワーク」

それぞれ年間 500 名の視察が来るが、第 2、第 3 の上勝町、神山町は生まれていない。



内容ではなく過程を学ぶことが重要。

- ・自己満足ではなく、客観的な評価で進めなければならない。
- ・行政も営業をしなければ税収が入って来ない人口減少時代である。

◎成功のカギは…

- ・的を絞る→売る商品が無いのに営業をしている自治体が多い
- ・本来は…ブランド化
「売るコンテンツを考える」
「ターゲットを絞る」
「媒体を間違えない」

⇒若者→パソコンサイト→スマホ検索

60代 →パソコンサイト→紙媒体

- ・ブランドが不明確でターゲット、セールスの仕方を間違えている自治体が多過ぎる。
- ・縦割り行政の弊害で進まない→ブランディングとプロモーションは同じ部署がやらなければならない。

※「眠いシティプロモーション」ではなく、尖ったプロモーションであるべき。

例

- ・香川県→多くの観光資源× → 「うどん県」多くの観光客を集めた。
「うどん県」のキャッチコピーを3年間使用

↓

- ・3年後キャッチコピーを変更「うどん県それだけじゃない香川県」

◎同じコンテンツでも名称を変えることでイメージが変わる

「無農薬のリンゴ」× → 「奇跡のリンゴ」○

「台風による傷物のリンゴ」× → 「落ちないリンゴ」○

5. シティプロモーションの課題と展望

1. 最終目標は何か？ 手段が多過ぎる→職員が対応出来ない
→3つ~4つの的を絞る

時代背景から視点を変える

シティプロモーション → 定住人口

ではなく

シティプロモーション → 関係人口にシフトしてきている。

2. 手段しか明記がなく、目標がない。

3. マーケティングの4P

- ①Product (製品) ニーズに応じた製品ブランドを開発する。
- ②Price (価格) ターゲットに最適な魅力 (価格) を設定する。
- ③Place (流通) ターゲットに届けるために効率的なマスメディア (流通網) を選定する。
- ④Promotion (販促) 最も効率的なプロモーションを展開する。

4. 他自治体との違いを創るシティプロモーション

5. これからの時代のシティプロモーション

- ・三密回避のシティプロモーション
- ・ウィズコロナのシティプロモーション

まとめ

時代の流れとともに人口が減り、行政職員も減っていくが仕事量は増えていくと推測される。増える仕事をシティプロモーションにより、公民連携で進め、民間の思考を行政活動に移転し、行政のDNAを変革する新しい切り口での自治体イノベーションの創発することが必要である。

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等 (視察、研修会、報告会、会議等) を添付すること。

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 柴田 一雄



会計年度	令和 2 年度		支出番号	4	
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費		<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費		<input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
合計支出金額			16,810 円		
枝番	支出年月日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
	令和2年 11月9日	交通費	東海旅客鉄道 株式会社	16,810円	●旅費内訳書との差額 (670円) 帰りは新幹線自由席 利用、東京メトロ往復代 を請求しないため。
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加 負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
		資料 購入費		円	●資料名
		その他 ()		円	
支 出 目 的	自由民主党静岡県連湖西・新居支部湖西市議団として国に対する要望活動				
備 考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

旅費内訳書

出張先： 東京都
 環境省・国土交通省・農林水産省・文部
 科学省・財務省・総務省・厚生労働省

出張日： 令和2年11月11日

出張者： 柴田一雄

区分		行程(路線名・駅名等)		キロ数	金額	備考		
鉄道賃	JR線	普通	鷺津	◇	東京	276.6	4,840	
			東京	◇	鷺津	276.6	4,840	
		新幹線 特急等	浜松	◇	東京	257.1	3,730	指定席(閑散期)
			東京	◇	浜松	257.1	3,730	指定席(閑散期)
	東京メ トロ丸 ノ内線	普通	東京	◇	霞ヶ関	2.1	170	
			霞ヶ関	◇	東京	2.1	170	
	小計					17,480		
	代		◇					
代		◇						
小計					17,480 円			
日当								
宿泊料		泊		円				
		泊		円				
合計					17,480 円			
行程略図								
11月11日 鷺津 ○ 東海道本線 浜松 ○ 東海道新幹線 東京 疎情・要望活動 東京 ○ 東海道新幹線 浜松 ○ 東海道本線 鷺津								



駅名 1310 領収書 No 32
窓口 No 102

領 収 書

柴田 一雄 様

金額 ¥16,810円
〔消費税等込み〕

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2020年11月9日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

松津駅

現金出納社員



駅名 1310 領収書 No 32
窓口 No 102

領 収 書

柴田 一雄 様

金額 ¥16,810円
〔消費税等込み〕

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2020年11月9日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

松津駅

現金出納社員



供	議長	副議長	局長	次長	係長	係	
覧	●	●	●	●	●	●	●

様式第9号(第7条関係)

令和2年11月17日

湖西市議会議員

氏名 柴田 一雄

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期間	令和2年11月11日(水)		
場所	厚生労働省、環境省、文部科学省、財務省、国土交通省、総務省、農林水産省 他		
内容	自由民主党静岡県連湖西・新居支部湖西市義研として 国に対する要望活動		
目的 (市政との関連性)	国に対する市の事業の国庫補助陳情のため。		
成果	現在、湖西市が抱えている重点課題の早期実現、早期解決に向けて、「国に対する要望」として先輩議員、同期議員、総勢11名で厚生労働省、環境省、文部科学省、財務省、国土交通省、総務省、農林水産省へ要望書を持参し、陳情を行いました。		

報告詳細

牧野たかお参議院議員 面会

「浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）」の進捗状況について説明を受け、今後の展開、着工に向けてのおおまかなスケジュールを確認できました。

片山さつき参議院議員 面会

外国人の貧困問題や外国人労働者、外国人児童の支援体制について国の取り組みについて説明を受けました。

大口善徳衆議院議員 面会

「国道1号潮見バイパス」の2車線化、環境センターの再稼働、旧環境センターの解体、子育て安心プランにおける財源確保の延長等、幅広い意見交換が行われました。

厚生労働省 渡辺由美子子ども家庭局長 面会

外国人児童、生徒への支援及び、発達教育の問題について意見交換を行い、支援の要望を行いました。

環境省 堀内詔子環境副大臣 面会

旧環境センターのマテリアルリサイクル施設としての整備、環境センターの再稼働について支援の要望を行いました。

文部科学省 鰐淵洋子文部科学大臣政務官 面会

外国人児童、生徒への支援及び、発達教育の問題について支援の要望を行い、今後の文部科学省の方針や、新たな取り組みとして帰国・外国人に対するきめ細やかな支援事業についても説明を受けました。

財務省 元榮太一郎財務大臣政務官 面会

各省庁への要望事項について財政支援の要望を行いました。

国土交通省 岩井茂樹国土交通副大臣 面会

「浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）」の早期実現に向けての今後の展開、大倉戸茶屋松線、「国道1号潮見バイパス」の交通事故削減対策事業の促進と4車線化に向けた渋滞対策について経過の説明と財政支援の要望を行いました。

総務省 宮路拓馬総務大臣政務官 面会

地方財政への配慮と不交付団体への措置について市の努力が報われる仕組みの要望を行いました。

農林水産省 葉梨康弘農林水産副大臣 面会

畜産臭気対策及び豚コレラ対策について説明を行い、国の研究開発についての進捗状況を確認し、支援の要望を行いました。

まとめ

多くの方々に要望書を手渡し、説明することで、前向きな返答もいただき、また、当市として未活用の補助金、助成金についても説明を聞くことができ一定の成果が得られたのではないかと思います。

面談の中から懸案事項に関しての解決策、今後の見通しを聞くことで、知識の拡大にも繋がりました。今後の議員活動に活かしていきます。

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等（視察、研修会、報告会、会議等）を添付すること。

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 柴田 一雄



会計年度	令和2年度	支出番号	5		
項目 (口にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 15,440 円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
	令和3年 1月26日	参加 負担金	地方議員研究会	15,440 円	●参加負担金 15,000 円 ●振込手数料 440 円
		資料 購入費		円	●資料名
		その他 (振込手数料)		円	振込手数料
支出目的	一般質問、質疑における事前準備、事後の取り組みに関する知識を習得するため。				
備考	地方議員研究会「私がうなった質問はこれだ」講座。 セミナー内容のデータを購入し、自宅にて視聴研修。				

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

領 収 証

柴田 一雄 様 2021年1月26日

★ ￥15,000

「私がらなった質問はこれだ」
資料・動画データ代として

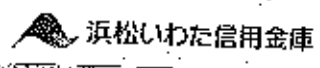
上記正に領収いたしました

地方議員研究会
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
TEL 06 (7878) 6297



キャッシュサービスご利用控

毎度ご利用いただきありがとうございます



取引日	03-01-26	取引金額	15,000
取引時間	13:22	手数料	440
取引場所	お引出	取引内容	資料・動画データ代として
取引金額	15,000	手数料	440
取引時間	13:22	取引場所	お引出
取引内容	資料・動画データ代として	取引金額	15,000
手数料	440	取引時間	13:22
取引場所	お引出	取引内容	資料・動画データ代として

印紙税控申告
付につき浜松西
税務署承認済

供	議長	副議長	局長	次長	係長	係	
意	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

様式第9号 (第7条関係)

令和3年2月12日

湖西市議会議員

氏名 柴田 一雄

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項目 (口にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費
期 間	令和3年2月8日 (月)		
場 所	自宅		
内 容	地方議員研究会「私がうなった質問はこれだ」講座。 セミナー内容のデータを購入し、自宅にて視聴研修。		
目 的 (市政との関連性)	一般質問、質疑における事前準備、事後の取り組みに関する 知識を習得するため。		
成 果	講師である、元・廿日市市副市長の講義から一般質問、質疑に ついて当局側の対応の実体験の話を開き、これからのウィズコ ロナ、アフターコロナの時代に議会として、どのように行政を 動かしていくことができるのか、多くの知識を習得することが できました。 今後の議員活動に活かしていきます。		

報告詳細

1. 質問のタイプ

- ・自己主張型
- ・課題、責任追求型
- ・政策提案型

2. 役所内マネジメントサイクルに乗せるための「政策提案型質問の構造」

現状認識（共有）＝課題認識・・・（共感）

↓

〈仮説〉 〈提案〉 ＝ 〈検証〉 に理解が生じる

↓

期待される成果 ＝ 〈行動〉

※ 質問を通じて当局側と一緒に政策を作っていくイメージが必要

◎現状認識（共有）

- ・正確さを担保するには数字をつける（出処を明確に＝省庁発表の数字を使う）
- ・住民の視点に立った物語。

◎現場を見て質問する重要性

- ①自分の政策テーマに身近な住民の困りごとを多く聞く。
- ②優先して対応すべき現状を明確にする。
- ③やるべきことは、財源を絞り出す方策を提案しながら対策を提案する。
（財政調整基金は市長のものではなく、市民のものである）

(1)共感

- ・課題認識が最も重要
- ・問題発見能力は日頃の問題意識と学習
- ・正確な現状認識から、現制度や地域事情を踏まえた課題認識であれば共感を獲得できる。（現状把握が困難な場合は現状把握をすることを提案する）
- ・共感は、質問内容だけでなく質問者の姿勢からも生じる。

具体例

公共事業の無駄を指摘していた議員が一転して地元駅の開発促進の要望

↓

当局は共感できない

◎テーマは一貫して続ける事が重要

(同じ質問をすることではなく、過去の議事録から深掘りしていく)

(2)仮説

- ・簡単な言葉で論理的に必要な性をプレゼンする。
- ・実現可能な気づきを提供する。
- ・先進地の事例は真似るのではなく「検証」として提案する。

(3)提案

- ・仮説、検証を踏まえて当市の実情に合わせて具体的な政策に落とし込む。
- ・財源を示す。

(4)検証

- ・当事者の住民の意見を聞く。
- ・他団体の成功事例の参照。
- ・専門家の意見を聞く。
- ・行政の中での優先順位

※良い質問の絶対要件 3つ

1. 現状認識が正確で共有できる。
2. 課題認識が時宜を得て共感できる。
3. 仮説（提案）が十分検証されている。

3. 答弁に対する対応

- ・「実施は困難です」 → 出来ない ⇒ 同じ質問は時間の無駄
- ・「研究します」 → やる気は無いが頭の片隅には置いておく
⇒ 事情が変わったら再度質問（不作為の責任を問う）
- ・「検討します」 → 時期は未定だが実施を前提に検討
⇒ 時期をみて進捗を確認して再度質問
- ・「実施に向けて検討します」 → 予算設置を考える
⇒ 予算編成に組み込まれるかを編成前に確認

4. 実際に役所が動いた質問のポイント

- ・住民の意見を多数集約
- ・既存制度を理解して、制度と現実が生んでいる課題を明確化
- ・解決策（仮説）を住民と調整
- ・質問を数回に渡って進める（深掘り）
- ・役所との事前調整

5. ①アフターコロナ時代の政策提言の要点

- ・全てがネットで繋がる時代
- ・現状の正しさを疑う事が重要
- ・税収の縮小は進み、地方は困窮
- ・自治体の力量が明確に → 今後も差は拡大

↓

②アフターコロナに役所はどういう動きをするか

- ・オンライン申請の実現
- ・リモートワーク
- ・ディアルハビット（2拠点居住）
- ・危機管理の財政基盤確保（人件費の縮減、新規の公共事業の中止、延期）
- ・動画配信技術革新（5G）

まとめ

ウィズコロナ、アフターコロナの時代は、地域ごとに異なる判断、政策が迫られ、多様化した時代で首長独自の政策判断だけでは対応できなくなる。

そのため、地方公共団体の判断は更に重要になり、今まで以上に議会の提案が必要となってくる。これからは議会軽視には敏感になると同時に、議会の役割として民意の反映だけではなく、民意の統合も大きな役割となってくる。

一般質問は議員個人の政治活動の位置付けだけではなく、議会の機関意思決定を行う為の手段であるとも考えなければならない。

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等（視察、研修会、報告会、会議等）を添付すること。

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 柴田 一雄



会計年度	令和2年度	支出番号	6		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 15,440 円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
	令和3年 3月2日	参加 負担金	地方議員研究会	15,440 円	●参加負担金 15,000 円 ●振込手数料 440 円
		資料 購入費		円	●資料名
		その他 (振込手数料)		円	振込手数料
支出目的	SDGsの基礎知識を習得し、今後のまちづくりや、社会基盤の整備等、議員活動の参考にするため。				
備考	地方議員研究会セミナーデータ「地方創生SDGs特別講座」。 セミナー内容のデータを購入し、自宅にて視聴研修。				

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

6

領 収 証

柴田 雄 様 2021年3月2日

★ ￥15,000

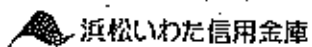
目「SDGsの基礎解説」
資料・動画子・夕代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
TEL 06 (7878) 6297

キャッシュサービスご利用

毎度ご利用いただきありがとうございます



取引項目	取引金額(円)	振替	取組品名
03-03-02			
から行会別機関	店番	口座	口座番号
前払	振替	現金	振込
			振込金額
			￥15,000*
お引出			
手数料	￥440	外貨	振込
時間	20:15		05:00
印紙税申告納付につき浜松西税務署承認済			

	議長	副議長	局長	次長	係長	係
寛						 

様式第9号 (第7条関係)

令和3年3月23日

湖西市議会議員

氏名 柴田 一雄

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項目 (口にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期 間	令和3年3月21日 (口)		
場 所	自宅		
内 容	地方議員研究会「地方創生SDGs特別講座」 <Part1> SDGsの基礎解説 セミナー内容のデータを購入し、自宅にて視聴研修。		
目 的 (市政との関連性)	SDGsの基礎知識を習得し、今後のまちづくりや、社会基盤の整備等、議員活動の参考にするため。		
成 果	講師である、神戸情報大学大学院教授・大阪市特別顧問の講義からSDGsの基礎知識を習得し、自治体の施策にどの様に影響があり、これからの施策に何が求められるかを理解することができました。今後の議員活動に活かしていきます。		



1. SDGsとは？

Sustainable Development Goals

持続可能な開発目標

2015年9月に国連の持続可能な開発サミットで採択された

背景

- ・1年間に日本国内で廃棄される食品の量は600万トンに対し、1年間に全世界で援助に用いられる食品の量は300万トン。
(農水省調べ)
- ・ハンバーガー1個のハンバーグを作るために必要な水の量は浴槽15杯分。
- ・世界には150万種の生命が存在しているが、1日100種減少している。
50年で生命が絶滅する？(環境白書より)

※38億年の地球の生命の歴史において6,600万年ぶりに歴史上6回目の大量絶滅の危機に晒されている。

過去は隕石の衝突や火山の爆発等、天災であったが、今回は人類の活動が地球上の生命活動の危機を招いてしまった。

2. SDGsのポイント

◎17の目標(169のターゲットと232の指標)

- ・大きくは社会・経済・環境の3つ

①社会問題

- ・貧困層及び脆弱層に対し十分な保護を達成する
- ・気候現象や経済、社会、環境的ショックや災害への脆弱性の軽減
- ・安全かつ栄養のある食料の確保
- ・伝染病の根絶と肝炎、水系感染症への対処
- ・財政リスクからの保護、安全で安価な質の高い必須医薬品の達成
- ・無償かつ、効果的で公正な質の高い初等教育及び中等教育
(職業教育も重視)

②経済問題

- ・公共交通機関の拡大などを通じた安全性の改善
- ・文化遺産、自然遺産の保護、保全

- ・都市部、都市周辺部及び農村の良好な繋がりを支援
- ・総合的な災害リスク管理の策定と実施
- ・開発重視型の政策の促進と中小零細企業の設立や成長を奨励
- ・雇用創出、地方の文化振興・産品販促に繋がる持続可能な観光業の促進

③環境問題

- ・気候関連災害や自然災害に対する強靱化
- ・気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発
- ・気候変動関連の効果的な計画策定と管理のための能力を向上するメカニズムの推進

※日本国内における8つの優先課題と具体的施策

- ①あらゆる人々の活躍の推進
- ②健康・長寿の達成
- ③成長都市の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
- ④持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
- ⑤省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会
- ⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
- ⑦平和と安全、安心社会の実現
- ⑧SDGsの実施推進の体制と手段

※理解すべきSDGsの5つの特徴

- ①普遍性（先進国を含めて全ての国が行動）
- ②包摂性（誰一人、取り残さない）
- ③参画性（全てのステークホルダーに役割）
- ④統合性（社会・経済・環境に統合的に取り組む）
- ⑤透明性（定期的にフォローアップ）

3. SDGsにおける経済的側面

「SDGsの目標を達成するために世界で年間5～7兆ドルの資金が必要となり、コロナ禍でさらに必要資金が増える可能性があると同時に2030年までには、年間12兆ドルの新たな市場機会が生まれるとも言われている。」

（経済産業省）

⇒世界の投資家がSDGsに注目

→ 国連が定めたESG（環境、社会、ガバナンス）投資の原則
・SDGs対応が遅れると企業として淘汰される時代。

◎議会としてのポイント

・自治体はSDGsに配慮した企業を誘致しているか？

4. 自治体施策への影響

◎SDGs未来都市・モデル事業の取り組み

●SDGs未来都市（60都市・令和元年度）

①自治体のSDGs推進のための取り組み

②SDGs達成に向けた事業の実施

●自治体SDGsモデル事業（20都市・令和元年度）

①経済・社会・環境の三側面の統合的取り組みによる相乗効果の創出

②自律的好循環の構築

③多様なステークホルダーとの連携

→ 計画策定、事業実施における関係省庁による横断的な支援

◎議会としてのポイント = 未来都市に応募する予定はあるのか？

まとめ

SDGsの基礎知識を習得することで、SDGsが国連の持続可能な開発サミットにおいて採択された背景、今後の企業動向や投資市場等、経済活動に及ぼす影響、そして今後、自治体の施策にどの様に反映されるのかを理解することができました。今後の議員活動に活かしていきます。

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等（視察、研修会、報告会、会議等）を添付すること。

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 柴田 一雄



会計年度	令和2年度	支出番号	7		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 2,640 円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
	令和3年 3月3日	資料 購入費	株式会社 谷鳥屋	2,640円	●資料名 書籍 「持続可能な地域の つくり方」
		その他 ()		円	
支出目的	SDGsの考え方から、新たなまちづくりへの発展に向けた知識習得の為。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

⑦

郵便番号

〒

印務名

柴田 一雄

様

領収証

金額

¥2640

得意先コード

請求地

今回請求額

2021年3月3日 上記正に納付いたしました。

印紙

印紙

浜松市中区運尺町309-1
 株式会社 谷島屋
 代表取締役 高藤 尚一 氏
 ☎(053)454-7765(内) FAX 454-746
 谷島屋オンライン <http://www.yajimaya.co.jp>



集金担当者印

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 柴田 一雄



会計年度	令和2年度		支出番号	8	
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費		<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費		<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費
合計支出金額 1,870 円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
	令和3年 3月18日	資料 購入費	株式会社 谷島屋	1,870円	●資料名 書籍 「こどもを育む環境 触む環境」
		その他 ()		円	
支出目的	子どもを取り巻く環境の急速な変化の中で、子どもの生育環境の在り方を検討する参考とする為。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

支出伝票

湖西市議会議員

氏名 柴田 一雄



会計年度	令和2年度		支出番号	9	
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費		<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費		<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費
合計支出金額 1,658 円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
	令和3年 3月18日	資料購入費	株式会社 谷島屋	1,658円	●資料名 書籍 「2050年超高齢社会の コミュニティ構想」 1,658円 1,870円のうち、1,658円 のみ請求。
		その他 ()		円	
支出目的	「2050年問題」を想定した早期の課題への取り組みや、これからのコミュニティの在り方を学習する為。				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

御住所

〒
御名 柴田 一雄

領収証

様

金額												¥	1	8	7	0
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---	---	---

得意先コード

請求地

今回創設金額

2021年 3月 18日 上記に領収済み済み

掛本代

印紙

浜松市中区連尺町309-1
 株式会社 島屋
 代表取締役 齊藤晋一郎
 〒454-7454 FAX 454-7454
 各店舗オンライン <http://www.yajimaya.co.jp>

朱書き印